

事業所名

放課後等デイサービスここいく員弁教室

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

21 日

法人 (事業所) 理念		子どもたちに誇らしい未来を創造する (親亡き後も幸せに生きるために)					
支援方針		①子ども一人一人をS-M社会生活能力検査で具体的に理解することからスタートし、②今の課題を抽出したら明確なゴール設定を行い、みんなで共有する。③今、必要なポイントをそれぞれが導き出して活動に落とし込んで子どもたちに経験してもらうこと。 身に着けてほしい社会生活能力は、A、身辺自立 B、移動 C、作業 D、コミュニケーション E、集団参加 F、自己統制 となっています。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	A、身辺自立 (衣服の着脱、食事、排せつなどの身辺自立に関する能力) B、移動 (自分の行きたいところへ移動するための能力) ・調理活動、作業活動 (調理や作業の実体験を行う活動で道具の扱いや作業遂行に関する生活能力を身につけていきます) ・宿題支援 (学校の宿題をやり終えることをサポートします) ↳健康的な生活を送るために、主に上記の課題に対してのゴール設定を行い、活動の中で楽しみながら支援を行います。					
	運動・感覚	C、作業 (道具の扱いなどの作業遂行に関する能力) ・プレジャートレーニング (外部講師による専門的な運動療育を毎週水曜日に体育館をお借りして提供) ・SST活動 (ソーシャルスキルトレーニング) 活動の中で楽しみながら行う支援をしています ・感覚統合 (様々な感覚刺激活動や運動活動 例えばトランポリンやバランスボール、サーキットトレーニング等) による支援を行います ↳体幹トレーニングを含む大きな筋肉の扱い方から、手先の微細運動に至るまで体の使い方を専門的な視点から支援します					
	認知・行動	・構造化 (目で見て見通しが立てられるようになる工夫で支援する) ・音楽による切り替え (決まった音楽を流すことで、片付けの時間を知らせることにより、切り替えができるようになります) ・戸外活動 (社会見学や外出活動、特別講師による教室〈書道・化学の実験など〉を通じて、集団での適応能力・社会性・退陣技術を養うためのプログラムです) ↳「目の前のこの子を理解する」がすべてのスタート 特性も環境も一人一人の個性としてそれに合わせた支援を行います					
	言語 コミュニケーション	D、コミュニケーション (言葉や文字などによるコミュニケーション能力) ・英語にふれよう (火曜日に外部講師を招いて英語によるコミュニケーションを提供しています) ・SST活動 (ソーシャルスキルトレーニング) 活動の中で楽しみながら行う支援をしています ↳基本は、その場で具体的な方法で伝えることでコミュニケーションを円滑にする支援を行います。活動ではゲームに取り込みながら楽しく経験してもらいます					
	人間関係 社会性	E、集団参加 (社会生活への参加の具合を示す能力) F、自己統制 (わがままを抑え、自己の行動を責任をもって目的に方向付ける能力) ・SST活動 (ソーシャルスキルトレーニング) 活動の中で楽しみながら行う支援をしています ↳そもそもあらゆる経験が社会性を身につけるために役に立ちます。「あなたはわたし」という愛を持った優しい感覚で一人一人と接することが大切です					
家族支援		・定期的な保護者との個別面談を行い、本児の状態やアプローチ方法など情報の共有を行うことで、本児が安定して豊かに成長していけるよう連携します ・環境等の変化で緊急を要する場合は家庭連携もしくは事業所内相談で対応します			移行支援		全ての子どもが共に育つ環境整備を進めるために、インクルージョンの取り組みを推進する。 親亡き後も幸せに暮らせるように、社会性・自立性を身につけるための支援を行う。
地域支援・地域連携		・相談員や保護者を通して学校や医療機関との連携を図り、一人一人への配慮点などの確認作業を行います ・地域のボランティア団体と連携しながら、共に生きていくインクルージョン社会を創造しています			職員の質の向上		・専門的な知識と経験のある外部の先生による研修を定期的に行っています
主な行事等		・親子交流会・ここいく参観日・宿泊体験・夏祭り・クリスマス会・卒業式&作品展示会・地震時の避難訓練・防犯警察指導・火災時の消防避難訓練・保護者会					